

2015年(平成27年)度 京都府内自治体における非核・平和施策一覧

2016/1/10

2015年度 アンケート調査報告書

非核の政府を求める京都の会

【設問】

- 今年度の重点施策は何でしたか。
 - 被爆者援護施策について
 - 子どもたちへの平和教育施策について
 - その他
- 非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。
- 戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。
- 原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を)
 - 立案し実施しつつある
 - 立案しているが、実施に至っていない
 - 立案する予定である
 - 未定
 コメント:
- 京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。
 - 原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。
 - すでに立てている
 - 立てていない
 ※コメント:(イ)の場合は その概略、(ロ)の場合は 今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。
 - 原発事故に関して住民への啓発活動を実施していますか。
 - すでに実施している
 - 立案しているが、未実施
 - とくに考えていない
 コメント:

【自治体非核・平和施策アンケートのまとめ】

全体的感想としては、すべての自治体がアンケートに応じられ、とりわけ京都府・京都市・福知山市など半数に及ぶ自治体が詳細な記述をしていただき、感謝に堪えない。以下に要約紹介するように、各自治体の非核・平和施策とその実施はかなりの定着度に達しているが、こうした動きに各地域住民の参加の程度が気になるところである。

<1>今年度の重点施策について

(1)被爆者援護施策:基本的に法にもとづいて、被爆者団体への補助・支援金が支給され、国・府・市町村それぞれのレベルで取り組まれている。特になし・無回答が27自治体中17であった。

(2)子どもたちへの平和施策:広島・長崎への派遣補助など共通した取り組みがあるが、学校教育への依存傾向が目立つ。

(3)その他:原爆パネル・戦争遺品などの平和展、折鶴活動、広報誌によるキャンペーン、講演会・コンサートなどが目立つ。

<2>非核・平和予算:100万未満7自治体、100万~200万5自治体、200万以上3自治体、特になし・不明12自治体であり、推定総額としては数千円に上っており、その使用状況や参加状況に地域平和運動として注目していく必要を感じた。

<3>戦後70年にちなみだ取り組み:戦時中の記録・遺品類の整理・保存、映画・講演・コーラス・コンサートなど、多彩な催しが見られるが、過半の自治体が「特になし」の回答であった。

<4>自然再生エネルギーに関して:立案実施中と未定とがほぼ半々(後者は南部多し)

<5>原発事故に備えた避難計画・啓発活動

(1)避難計画:「すでに立案」と「未立案」がほぼ半々(後者はほぼ南部)

(2)住民への啓発活動:「すでに実施」と「考えていない」とがほぼ半々(後者はほぼ南部)

全体として福井原発群から30キロ圏外には避難計画が法的に義務付けられていないことの反映と考えられる。

自治体名	1、今年度の重点施策は何でしたか。			2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3、戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。	4、原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を)	5、京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。
自治体名	①被爆者援護施策はどのように実施されましたか。	②子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。	③その他				
京都府	(健康対策課) ●従来どおり、原爆被爆者の援護については、法に基づき健康診断の実施や各種手当を支給するとともに、府独自措置として、人間ドックの実施や年末見舞金を支給している。 ●また、府営住宅の優先入居も実施している。	(学校教育課) ●府内の小・中学校では学習指導要領に基づき、平和に関する学習を社会科、道徳等の時間に行っている。 ●小学校、中学校共に現行の学習指導要領では社会科の目標を「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと」として指導を行っている。なお、現在使用している教科書のページ数が以前使用していたものに比べて全体的に増加したことに伴い、平和関係の記事も増加している。 ●平和教材を充実させる工夫としては、府立図書館を中心として、各公立図書館が連携して関連図書やセットにして貸し出すという仕組みがあり、修学旅行の事前学習など平和関係の学びの際には、子どもたちが様々な教材を最寄りの公立図書館で手に入れることが可能である。	(総務調整課) 特になし	非核・平和施策分として分類していない	特になし	イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定	①原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。 イ、すでに立てている ロ、立てていない ※コメント:(イ)の場合は その概略、(ロ)の場合は 今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。 ②原発事故に関して住民への啓発活動を実施していますか。 イ、すでに実施している ロ、立案しているが、未実施 ハ、とくに考えていない ※コメント:
京丹後市	特になし	学校教育の授業において、「国語科」「社会科」「道徳教育」「総合的な学習の時間」や「人権教育」などの中で行っている。	・原爆ポスター展を庁舎ロビー内にて開催し、市民へ平和の大切さを訴える機会を設けた。 ・広報誌において、広島及び長崎に原子爆弾が投下された時刻、終戦記念日に黙祷を捧げることを掲載し、世界の恒久平和の啓発活動を行った。	948千円 (戦没者追悼式、平和首長会議負担金)	特になし	イ、立案し実施しつつある ※再生可能エネルギー導入促進に関する基本的な方針	イ、すでに立てている ●関西電力高浜発電所及び大飯発電所における原子力災害にかかる住民等の避難及び防護措置について必要な事項を定めている。
伊根町	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。	ニ、未定	イ、すでに立てている ●平成27年3月11日に伊根町防災会議が開催され、伊根町原子力災害住民避難計画を策定。
与謝野町	特にありません。	特にありません。	戦後70年にあたり、原爆パネル展を庁舎ロビー内にて開催し町民へ平和の重要性を訴える機会を設けた。(8月中)	特にありません。	特にありません。	イ、立案し実施しつつある 後期総合計画第3章の施策方針の(1)地球温暖化防止対策の推進に基づいて、太陽光パネルを「クアハウス岩滝」に設置、太陽光パネル付ソーラーライトを「わ〜くばる」「リフレかやの里」に設置している。	ロ、立てていない

自治体名	1、今年の重点施策は何でしたか。			2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3、戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。	4、原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定	5、京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。		
	担当窓口	①被爆者援護施策はどのように実施されましたか。	②子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。					③その他	①原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。 イ、すでに立てている ロ、立てていない ※コメント:(イ)の場合はその概略、(ロ)の場合は今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。
宮津市	秘書広報係			○広報誌に平和特集記事を掲載 ○原爆投下日、終戦記念日に半旗の掲揚と黙とう	100,000円		イ、立案し実施しつつある	イ、すでに立てている	イ、すでに実施している
舞鶴市	企画政策課		・引き揚げふるさと学習 ・引揚記念館教育旅行誘致	・引揚記念館収蔵資料の「ユネスコ世界記憶遺産登録」推進	31,094千円	・引き揚げの史実の継承を通じた平和の尊さの発信(※H27.9.28引揚記念館リニューアル、H27.10.10「舞鶴への生還1945-1956シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録」のユネスコ世界記憶遺産登録、H27.10.10 戦後70年・海外引揚70周年平和祈念式典開催。これらを契機に平和の尊さの発信をさらに強化)	イ、立案し実施しつつある 総合計画上に挙げている。	イ、すでに立てている 舞鶴市地域防災計画(原子力災害対策編)に規定する「避難収容活動体制の整備」の「避難計画の作成」に基づき、関西電力株式会社高浜発電所及び大飯発電所における原子力災害にかかる住民等の避難及び防護措置について、必要な事項を定めたもの。 (http://www.city.maizuru.kyoto.jp/modules/kikakup/index.php?content_id=1136)	事故に関して啓発活動を実施することはありませんが(発生しておりませんが)、住民避難計画の出前講座や説明会の開催、防災訓練を実施しております。
綾部市	企画政策課	特になし	平和・環境などをテーマにした世界連邦推進小・中学生ポスター・作文コンクールを実施	戦後70年 市政施行65周年などを記念し、第32回世界連邦日本大会を10月に綾部市で開催	162万3000円	世界連邦・平和施策のさらなる推進	イ、立案し実施しつつある	イ、すでに立てている UP2圏内の住民を圏外へ誘導	イ、すでに実施している
福知山市	市民権環境部人権推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・8月6日、8月9日及び8月15日に平和祈念式典及び全国戦没者追悼式が執り行われるのに伴い、本市においても原爆死没者及び戦没者を追悼し、併せて世界恒久平和の確立を祈念するために、各庁舎において半旗の掲揚と黙とう(庁内放送による)を実施しました。 ・本市では、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の規定に基づき、各種証明書等の手数料を本市の手数料条例で定め、手数料については徴収していません。 ・被爆者への援護施策については、京都府作成の「原爆被災者のしおり」に基づき、市町村にできる各種申請手続きに関する事務を行っております。 ・また、社団法人京都府原爆被災者の会福知山支部に対して、毎年活動助成を行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の平和教育施策として、子どもたちに平和の尊さを教え、戦争の悲惨さと被爆の実相を伝えることは、大変重要なことだと考えています。各学校での教科指導のよりどころとなる学習指導要領では、社会化における目標を「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」と明記されています。特に、小学校6年生の歴史学習の中では、我が国にかかわる第二次世界大戦を調べる活動の中で各地への空襲や沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾投下など国民が大きな被害を受けた歴史的事実を通して「命の大切さ、平和の尊さ」について学ばせることを大切なポイントとして指導しています。その他にも、総合的な学習の時間や特別活動、道徳の時間を活用して戦争の悲惨さや平和の大切さを学ばせるようにしています。さらに長崎や沖縄への修学旅行を実施している中学校では、現地での平和学習の中で被爆者の方々の体験を聞く学習などを設定しています。 ・市立図書館中央館・各分館においては、平和や戦争への理解を深めていただけるように、「平和の大切さ・戦争の悲惨さ」についての学習ができる図書を購入するとともに、毎年8月には特設コーナーを設けて、「平和と戦争」についての図書を多数展示しています。また、今年は戦後70年の節目の年にあたり、分館で「平和を考えるおはなし会」を開催し、児童生徒をはじめ、市民のみならず「平和」について考えていただける取り組みを行っています。 ・本市に在住または在学中の中高生を対象に、人権について広く啓発できる人材育成を目的として、平和学習を実施。中学生は広島、高校生は長崎で現地学習を行った。現地学習後は、成果物を作成し、報告会、パネル展示等の啓発活動を実施した。沖縄でも高校生が、人権文化体験研修を12月に実施する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終戦70周年記念事業として、「平和フォーラム・イン福知山」を開催した。講師に戦場カメラマンの渡部陽一さんを迎え、市内高校生10名と平和についてパネルディスカッションを行った。その後、「世界からのメッセージ」と題し、世界の紛争や現地の様子、戦争の悲惨さについてお話しいただいた。戦後70年という節目の年に、改めて戦争と平和について考える機会となった。 ・市民及び平和フォーラムに参加する高校生を対象に「被爆体験講演会」を実施した。高校生にとっては、パネルディスカッションに向けて自身の考えを整理する機会となったと考えている。また、ミニミニ原爆展と合わせて開催したことで市民への啓発も行うことができた。 ・原爆投下日、終戦記念日に合わせて日本非核宣言自治体協議会より寄贈されたパネルの展示会を「ミニミニ原爆展」と称し、市民交流プラザふくちやま3階ギャラリー前及び図書館、ハピネスふくちやま3階男女共同参画センターで実施した。昨年度に引き続き、平和市長会議加盟都市5000突破記念原爆ポスターの一部を展示物に加え、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名ブースを設置した。 ・日本非核宣言自治体協議会主催の終戦70周年事業「ナガサキ平和伝言所&バグウォッシュ会議」の参加者募集について、地元新聞に掲載した。 ・広報ふくちやま(市広報紙)に「長崎平和学習の旅」、「広島平和行動」報告記事を掲載した。「沖縄人権文化体験研修」については12月実施予定。 ・2015年原水爆禁止国民平和行進への対応 (1)市長による激励のメッセージ文の読み上げ、手渡し (2)要望書に関する回答書、市長名を記入したペナントの手渡し (3)行進実行委員との懇談 	2,256,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は平成22年1月に加盟。22年度よりミニミニ原爆展を実施し、現在も継続して取り組んでいる。 ・昨年度恒久平和都市宣言の作成を行い、庁舎内や市民交流プラザなどに掲示し、市民への啓発を図っている。 ・福知山市役所本庁、各支所、三段池公園において、恒久平和宣言都市ふくちやまを啓発する看板を設置している。(夜久野支所のみ8月1日～31日設置) 	ロ、立案しているが、実施に至っていない 平成27年3月に、福知山市再生可能エネルギー活用プランを策定した。	イ、すでに立てている UP2圏内の住民避難計画は策定し、避難訓練も実施している。	イ、すでに実施している 訓練時の啓発、パンフレット配布など
南丹市	総務部総務課	とくに重点施策として位置づけた被爆者援護に関する施策は実施していません。	本年も、文化博物館・郷土資料館において、夏季特別展「戦争と南丹市」～子どもたちに語り継ぐ戦争展～を開催し、広く平和について考える機会の提案を行いました。	非核・平和施策に特化した予算は計上していません。	予定していません		イ、立案し実施しつつある	イ、すでに立てている	イ、すでに実施している
京丹波町	総務課	特に実施していません。	従前と同様に小中学校において、社会科の授業や学校行事(中学校の修学旅行)の中で戦争体験者から話を伺ったりする中で、平和について学習しています。	非核・平和施策に特化した予算は計上していません。		特に検討していない	ニ、未定	イ、すでに立てている	イ、すでに実施している
亀岡市	企画管理部秘書広報課	なし	「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅の実施(親子で平和の尊さ、大切さを学び考えるため、市内小学生親子14組28人が1泊2日で広島を訪問。)	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念式典の開催(世界の恒久平和を願い、毎年開催している「平和祭」行事の中心的事業。) ・平和のコスモス園事業(平和の歌「うつくしもの」を通じて、本市中学生が歌詞に出てくる「コスモス」の種を市内農地に蒔き、平和と友好をPR。) ・被爆ピアノ平和コンサートの開催(ピアニストの山田紗耶加氏を迎え、実際に広島で被爆したピアノを使ったコンサートの開催。) 	平和推進事業経費として、174万8000円	なし	ニ、未定 原発に替わるエネルギーとして特化しているのではなく、広義の自然再生エネルギーとして、太陽光発電システムの普及を本市の総合計画に位置付けている。	ロ、立てていない 検討中	イ、すでに実施している 平成25年度に亀岡市総合防災訓練で原子力災害の対応訓練を実施した。

自治体名	1、今年の重点施策は何でしたか。			2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3、戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。	4、原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定	5、京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。	
担当窓口	①被爆者援護施策はどのように実施されましたか。	②子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。	③その他				①原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。 イ、すでに立てている ロ、立てていない ※コメント:(イ)の場合はその概略、(ロ)の場合は今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。	②原発事故に関して住民への啓発活動を実施していますか。 イ、すでに実施している ロ、立案しているが、未実施 ハ、とくに考えていない ※コメント:
京都市	総合企画局総合政策室 被爆者に対する本市独自の援護施策として、市営交通の運賃の減免、市民税の減免、国民健康保険料の減免、市営住宅の優先入居等を行っている。	○ 平和関連図書コーナーの設置 京都市図書館全館において、8月に平和関連図書のコーナーを設置し、図書の展示及び貸出を実施した。 ○ 学校における平和教育の取組 学習指導要領を踏まえ、社会科、道徳の時間等を通じて、国際社会に生きる民主的、平和的国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための教育活動を行った。また、修学旅行で広島・長崎・沖縄などへ行く学校においては被爆体験も含む戦争体験講話の聴講等を行っている。	国籍を超えた人と人とのふれあいや異文化を楽しむでいただくことにより、異文化への理解を進めるとともに、平和の尊さを市民の皆様にご感じいただくため、(公財)京都市国際交流協会との共催により、「京都市平和祈念事業」を開催した(11月3日 於:京都市国際交流会館)。同事業では、声優として活躍されている佐久間レイさんをお招きし、「絆の大切さ〜いのちはひとつにつながっている〜」と題して講演いただいた。 また、8月15日の終戦記念日を迎えるに当たり、市民の皆様は、平和について今一度考えるきっかけとしていただくため、平和首長会議において、加盟する都市が5000都市を超えたことを記念し、平成24年4月に作成された「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター」を市役所正面玄関(掲示期間8月1日～15日)において展示するとともに、前述の平和祈念事業開催時や区役所での展示も行った。	本市は、平和を都市の理念として位置付け、市政の様々な分野において、平和に関する取組を行っており、非核・平和施策という区分での算出は困難。	戦後70年に関連して、以下の事業等を実施した。 ○立誠シネマプロジェクト 戦後70年企画として映画を上映(7/25～8/28)。 ○京都市考古資料館 企画陳列「京都の戦争遺物と史料」を開催(8/8～9/23)。京都市内の遺跡調査から明らかとなった当時の遺跡や遺物に焦点を当てるとともに、戦時中の物資の取り扱いを示した史料を紹介。(京都市歴史資料館共催) ○京都市学校歴史博物館 企画展「戦争と学校―戦後70年をむかえて―」を開催(7/4～10/6)。開催期間中に「戦争は学校に何を残したか―戦後70年をむかえて―」と題して講演会を開催(8/8, 8/15) ○京都国際マンガミュージアム 24点のマンガ作品と、新しい表現の「戦争マンガ」を発表している3人の作家の作品原画を紹介することで、戦後70年を考えるためのきっかけとするため、企画展「マンガと戦争展」を開催(6/6～9/6)	イ、立案し実施しつつある 「京都市地球温暖化対策計画<2011-2020>」において、「エネルギー創出・地域循環のまち」を、2030(平成42)年度の目指すべき社会像の一つとして掲げるとともに、平成25年12月に策定した「京都市エネルギー政策推進のための戦略」においては、原子力に依存しない持続可能なエネルギー社会を目指し、多様な「再生可能エネルギーの飛躍的な普及拡大」を施策推進の方向性として掲げている。	イ、すでに立てている 平成25年3月、大飯原発から32.5km圏域の地域をUPZと定め、当該地域における原子力災害時の避難計画を策定	イ、すでに実施している 平成27年5月にパンフレット「原子力防災の手引き」18,500部を市役所、区役所・支所、消防署、図書館等への配架。UPZ内の全世帯への配布、自主防災会からの回覧等で市民に対し啓発活動を実施
向日市	市民生活部市民参画課 ・原爆被災者の会向陽支部の活動に補助金を支給	・広島平和記念式典への市民代表の対象を市内在住の親子とし、2組の親子を派遣した。 ・市内の小学4年生を対象に平和を題材とした書道作品を募集、表彰及び展示を行った。 ・市内の保育所園児を対象に平和の折り鶴を作成してもらった。 ・市内に学合唱歌等による平和コーラスを開催した。	・向日市民平和と人権のつどい(8/8開催)及び平和パネル展の開催 内容:平和書道展入賞者表彰式、平和コーラス、瀬谷ルミ子氏講演会(日本紛争予防センター「JCPC」理事長) 同時開催:平和パネル展、人権パネル展、平和書道展	928,000円	・被爆70年平和祈念事業として、市内に学合唱歌等による平和コーラスを開催した。	二、未定	ロ、立てていない 本市については、地域防災計画において、国の方針に基づき、屋内退避とする。	ハ、とくに考えていない
長岡京市	企画部政策推進課 原爆被災者団体への補助金支出等	・平和を祈る折り鶴への参加:小学生、中学生、高等学校生徒による折り鶴作成 ・小学生の平和学習 ・すいとん作り及び試食 ・平和に関するポスターの展示・平和メッセージ作成 ・神足空襲について小学生にも分かりやすい資料をHPにて掲載(平和ポケットブック) 市HP参照: http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/000001633.html	・ながおかきょう食育ひろばにて「戦時中の食事」パネル展示(6月27日) ・「戦争と平和展」戦争と平和に関する図書の展示と貸出(7月2日～8月30日) ・「昭和の戦争と長岡の人々」戦時中の地域の暮らしの展示(7月2日～9月30日) ・長岡京ガラシャ祭における「ガラシャ平和の祈り」展示(11月1日～10日) ・人権のつどいにおける「平和への取り組み」パネル展示(12月7日) ・長岡京市が発行する広報誌にて、戦時中の長岡京市の様子や戦争を体験された方の体験談を掲載 ・平和を考える市民フォーラム'15(7月18日)※台風のため中止:以下実施予定であったものを記載:平和祈念碑への献花、戦没者追悼の碑への献花、小学生の学習発表、中学生の吹奏楽演奏、高校生の演劇発表、長岡京市の戦後70年を振り返るトークセッション、「太郎と花子がれきのにほんれつとうのたび…」(アニメ)、戦時食「すいとん」の試食コーナー、昔のくらしとおやつ体験コーナー、絵本の読み聞かせ、高校生の平和に関するポスター展示、平和メッセージ「あなたが平和を感じる瞬間」展示、平和祈念碑の掛け軸展示、平和を祈る折り鶴の展示、その他平和に関する展示等	900千円	特になし	イ、立案し実施しつつある 長岡京市第二期環境基本計画では、太陽光発電システムを中心とした再生可能エネルギーの普及を図っている(長岡京市住宅用太陽光発電システム設置補助金等)。	ロ、立てていない 原発から30km圏外となっており、策定義務はないため現時点では立てていない(本市は原発より60km以上離れている)。	イ、すでに実施している 長岡京市地域防災計画に原発事故が発生した際の注意事項について記載しており、市民に配布している。また、2013年には本市が発行する広報誌にも原発事故時の対策について掲載を行った。
大山崎町	総務部政策総務課 原爆被災者の会に補助金を交付(福祉課に於いて実施、3万5千円/年)	広島平和記念式典への派遣(親子)、それに持参するための折りづるの作成を町立小・中学校、保育所に依頼した。	広島平和記念式典への派遣(町民代表)、平和に関するパネル展示、「平和のいしずえ展」の実施(本町歴史資料館にて)	28万5000円(1-①、原爆被災者の会への補助金を含む)	特にありません	二、未定	ロ、立てていない 本町はいわゆるUPZからは外れているため、個別具体の避難計画は有さないが、原子力災害時の情報収集など、応急対策については地域防災計画に定めています。	イ、すでに実施している 東日本大震災以降、毎週定点の放射線量を測定し、町HPで公表しています。

自治体名	1、今年の重点施策は何でしたか。	2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3、戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。	4、原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定	5、京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。		
	①被爆者援護施策はどのように実施されましたか。 ②子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。 ③その他				①原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。 イ、すでに立てている ロ、立てていない ※コメント:(イ)の場合はその概略、(ロ)の場合は今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。 ②原発事故に関して住民への啓発活動を実施していますか。 イ、すでに実施している ロ、立案しているが、未実施 ハ、とくに考えていない ※コメント:		
宇治市	京都府原爆被災者の会宇治支部に対し、団体運営費に対する補助金を支出している。(平成27年度:補助金10万円)【担当部署:福祉こども部 地域福祉課】	7月28日～30日 小・中学生平和訪問団派遣(沖縄) 8月7日「平和☆ひゅまん夏フェスタ」開催//「70年前の沖縄」～小・中学生平和訪問団員による平和学習成果の報告、宇治市少年少女合唱団による平和コンサート、「平和の絵」展、戦争遺品展、平和のお話会 8月10日～28日「平和の絵」展 10月9日 小・中学校への平和図書寄贈 11月頃 小・中学生平和訪問団文集発行予定、小・中学生平和訪問新聞発行予定	7月18日～9月6日 戦争遺品展(歴史資料館) 8月1日～23日 戦争遺品巡回展(公共施設)、平和図書展(公共施設) 8月6日～23日 戦争遺品巡回展(公共施設) 8月8日 平和コンサート(植物公園) 8月10日～28日 戦争遺品巡回展(市役所) 8月14日 平和ロビーコンサート(出演:宇治少年少女合唱団) 8月15日 宇治市民平和祈念集会、平和の木植樹お披露目	宇治市平和都市推進協議会への補助金 448万9750円	左表平和啓発事業のうち、「戦争遺品巡回展」「平和コンサート(植物公園)」「平和の木植樹お披露目」については戦後70年特別企画として実施。 ニ、未定 本市第5次総合計画には表記がないが、総合計画を環境の面から具体的に推進する計画である宇治市第2次環境保全計画には再生可能エネルギーの推進が位置づけられている。	ロ、立てていない 本市は、京都府において策定された原子力災害に係る広域避難要領により、北部からの避難者を受け入れる予定としている。 ハ、とくに考えていない 本市はUPZ圏外のため。	
久御山町	特になし	小・中学生広島派遣事業 7月23日～24日 33人 小・中学生広島派遣事業記録展 8月14日～8月31日 小・中学生平和ポスター募集事業(夏休み期間) ※ポスターは、学校で選定して文化祭等で展示 平和祈念集会(8月15日)での派遣団員(1人)作文発表	折鶴事業 6月16日～7月13日 18,000羽 平和祈念集会 8月15日 100人 ヒロシマ原爆の記念ビデオ 8月15日 100人 平和パネル展 大阪大空襲パネル 8月14日～19日//ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター 8月14日～31日//サダコと折鶴ポスター 8月14日～31日	108万7千円	予定ありません	ロ、立てていない ハ、とくに考えていない	
城陽市	「京都府原爆被災者の会 城陽支部」に対し、補助金を交付した。	[平和のつどい] 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ等、平和の大切さを市民に呼びかけるべく、文化パルク城陽において平和のつどい(平和啓発のパネル展示、ビデオ放映、折鶴コーナー、小中学生広島派遣団昨年度参加者の作文発表(2名)、被爆体験者の講話、城陽市の戦争資料展示、戦争・平和に関する図書コーナー)を実施した。 [平和のための小中学生広島派遣団] 小中学生を対象として、原爆の恐ろしさや平和の尊さについての平和学習をするため、広島に派遣し、被爆体験者講話の受講、平和記念資料館、追悼平和祈念館、原爆ドーム等を見学した。そして「平和のつどい」で集まった折鶴と、派遣団が持ち寄った折鶴を「原爆の子の像」に捧げた。また、小中学生広島派遣団の感想文を文集にして市内各小中学校、城陽市図書館、コミュニティセンター図書室に設置した。 [永遠の希い(とわのねがい)] 戦争体験記「永遠の希い」を市内中学生の卒業時に各生徒に配布するとともに、同記を発刊以来図書館、教育施設などにも配置し、戦争の悲惨さ、愚かさ、生命の大切さについての啓発をしている。		160万7000円	新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどは検討していない。 戦後70年にあたり、毎年実施している「平和のつどい」において、平成27年度は城陽市の戦争資料展示、戦争・平和に関する図書コーナーを設け、内容の充実を図った。	イ、立案し実施しつつある 総合計画の実施計画である「まちづくり推進計画」において、公共施設への太陽光発電システムの導入を進めている。 ロ、立てていない 本市は福井県の原子力発電所事故で想定される影響の範囲外であるため、住民避難計画は立てていない。 ハ、とくに考えていない	
八幡市	本市の平和推進事業は、市の補助団体である「八幡市非核平和都市推進協議会(略称=ピース八幡)」と連携を図り平和施策を進めています。 ○「平和の折り鶴」事業 市内公共施設(18箇所)に回収かごを設置(7月1日～24日)し、随時回収した「平和の折り鶴」(平成27年度75,000羽回収)を市役所ロビーに展示。展示した後、広島市他、一部長崎市に送付 ○「原爆と人間」パネル市役所ロビーに(7月1日～23日)展示 ○「平和大使報告会」(9/5)の開催 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(8/6)に参加された市内中学生8名が感じた「ヒロシマ」を報告、併せて記念講演 講師:渡辺陽一さん「世界の戦場から平和を考える」を開催 被爆者援護施策は特に実施していません	① 市内中学生8名による広島平和祈念式典等への参加(8/5・8/6)。 事前学習会の開催、広島平和祈念資料館等の見学、市民から託された「平和の折り鶴」を原爆の子の像に奉納、語り部さんから被爆体験談を聞く等平和研修を実施。 ② 平和大使写真展を実施(8月16日～8月17日文化センター1階展示室)	○原水爆禁止平和行進に対して激励挨拶、終結集会に対して市役所敷地を提供。 ○広島原爆投下日に原爆犠牲者の霊を慰め恒久平和を願って黙とう放送を行い「広報やわた」で広島・長崎原爆投下日及び終戦の日に1分間の黙とうを市民に啓発いたしました。 ○平成27年7月26日(八幡市生涯学習センター) 平和の折り鶴「連鶴」講習会を実施しました。	100万円	戦争体験談記録事業 戦争体験された方々の高齢化が進み、戦争の悲惨さを風化させないためにも後世に語り伝えることが必要であることから、戦争体験談収録を実施し、文集を作成します。	本市の地域特性に応じた再生可能エネルギーは、特に太陽光・太陽熱による利用の推進が求められます。平成22年度から、八幡市住宅太陽光発電システム設置費補助金要綱を策定し助成を始めました。この制度を継続し、普及促進を図っています。(昨年と変わりなし)	ロ、立てていない ハ、とくに考えていない

自治体名	1、今年の重点施策は何でしたか。			2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	3、戦後70年にあたり、貴自治体において新たな非核平和施策や非核自治体宣言の見直しなどを検討されているでしょうか。ご紹介ください。	4、原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定	5、京都は、若狭の原発群に隣接しています。原発事故にそなえて貴自治体の対応について。		
	①被爆者援護施策はどのように実施されましたか。	②子どもたちへの平和教育施策をどのように実施されましたか。	③その他				①原発事故時の「住民避難計画」を立てていますか。 イ、すでに立てている ロ、立てていない ※コメント:(イ)の場合はその概略、(ロ)の場合は今後の予定などあれば簡潔に記載して下さい。	②原発事故に関して住民への啓発活動を実施していますか。 イ、すでに実施している ロ、立案しているが、未実施 ハ、とくに考えていない ※コメント:	
京田辺市	総務部総務室	実施していません。	●小・中学生から「平和」をテーマにした書道作品を募集し、平和展で展示。 ●平和を考える小・中学生ひろしま訪問事業を実施(7/22~7/23) ●こども平和映画会を実施予定(H28.3/12)	●平和祈念黙とう(8/6、8/9,8/15) ●平和のつどい(8/9) ●平和展(パネル展示「ヒロシマ・ナガサキ」書道作品の展示等)、8/6~8/11 ●平和図書展(テーマ:戦後70年 広島・長崎と原子爆弾) ●平和映画会(一般向け:8/1、子ども向け:8/15)	1,600,000円 京田辺市平和都市推進協議会への補助金	特になし	ニ、未定	ロ、立てていない	ハ、とくに考えていない
精華町	総務部企画調整課			「精華町平和祭典2015」の開催 内容:被爆ピアノコンサートを実施。コンサート途中で、町内在住の戦争被災体験者とのミニ対談を実施。啓発パネル展示及びドキュメンタリー上映を実施。来場者にかき氷の無料配布を実施。参加者に折り紙を配布し平和への祈りを込めて折り鶴を折ってもらった。	精華町平和祭典実行委員会への町負担金100,000円	精華町平和祭典の事業を戦後70年事業として位置づけ、被爆ピアノコンサートを実施し、啓発事業の重点化に努めた。	ニ、未定	イ、すでに立てている 地域防災計画の中に、原子力緊急事態宣言が発出された場合、住民に対し退避の準備を指示する旨を盛り込む予定。また、放射能汚染が拡大し、町域への影響の恐れがある場合、全住民に対し屋内退避を指示する。原子力災害発生時、府が計画する原子力災害時の府内広域要綱に基づき、広域避難者(府与謝野郡伊根町から)の受け入れを行う旨を盛り込む予定。	ハ、とくに考えていない
木津川市	人事秘書課	特になし	学校教育の中で平和学習を実施	広く戦争中に市内で撮影された写真を募集し、パネルにして展示	パネル作成30万円	特になし	ニ、未定	ロ、立てていない 市地域防災計画において原子力災害発生時における対応を記すとともに府の計画に基づき、広域避難者の受入を実施	ハ、とくに考えていない
井手町	総務課	なし	施策としては行っていないが、修学旅行の一環としての平和教育を実施。	戦後70年の取り組みとして図書館で、平和展を実施(「人権を考える絵本」「平和を考える絵本」のブックリストを作成し、展示)	なし	未定	ニ、未定	未定	未定
宇治田原町	総務課	被爆者や被爆地の実相を知り、平和の大切さや命の重さ・尊さを学ぶことが、被爆者援護の第一歩であると考え、広島市や長崎市(*)に児童・生徒を派遣。現地で学んだことや感じたこと、また考えたことを発表会や広報紙面を通じて、地域住民に広く伝えるなどの事業を展開。	●児童・生徒を広島市に派遣する「広島平和体験学習」や、中学生4名を本町特使として長崎市へ派遣する「平和友好特使派遣事業」(*)を実施。(長崎市内では、現地中学校の平和祈念集会に参加し、平和を通じた交流を行うなど幅広い平和学習を展開) ●学習の成果を、広報紙に掲載するとともに、世代を越えて平和について考える場「平和のつどい」で発表。 ●児童・生徒及び一般から募集した平和に関する書道・絵画等作品を、文化センターに展示。	本町非核・平和都市宣言(平成元年6月28日決議・宇治田原町議会/平成元年10月27日告示・宇治田原町)に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願った施策を展開。平和に対する思いを次代へ繋げていくため、『平和・感謝・希望』を具現化した「平和の鐘」(町制50周年を記念に(H18)制作)を活用し、平和のつどいを実施。	宇治田原町非核平和都市推進協議会への助成。900千円。	平和推進旬間にヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展を開催。	イ、立案し実施しつつある	ロ、立てていない	
和東町	総務課	特に実施していません。	学校教育の中で平和等について学習しています。	「ヒロシマ・ナガサキ 被爆の実相に関するポスター展」を開催 期間:8月1日(土)~8月31日(月) 場所:役場庁舎住民ホール	25万9000円 (戦没者追悼式費用)	特になし	ロ、立案しているが、実施に至っていない	ロ、立てていない	ハ、とくに考えていない
笠置町	総務財政課	特になし	特段の施策としてはないが、学校教育の中で平和について学習している。		なし	特になし	ニ、未定	ロ、立てていない 未定	ハ、とくに考えていない
南山城村	総務課	特になし	学校での平和活動は実施している。		なし	特になし	ニ、未定	ロ、立てていない	ハ、とくに考えていない